

# 令和6年度大館市立西館小学校 学校自己評価書（前期）

## 評価

児童の 状況	自己評価	きわめて良好	自己	5	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標に対し100%以上達成
	Aと学校	良好	評価	4	実現状況は良好で意欲もある/数値目標に対し80~99%達成
	関係者評	おおむね良好	Bの	3	実現状況はおおむね良好/数値目標に対し60~79%達成
	価の評価	やや不十分	評価	2	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標に対し40~59%達成
	区分	努力を要する	基準	1	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標に対し39%以下の達成

学校運 営の 状況	自己評価	きわめて良好	自己	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	Aと学校	良好	評価	4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	関係者評	おおむね良好	Bの	3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	価の評価	やや不十分	評価	2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	区分	努力を要する	基準	1	目指す方向が不明確で取組体制や取り組み方に解決すべき課題が多い



1・2年学校探検（4月）



北部自動車学校での交通安全教室（3・4年）



おもちゃ組による読み聞かせ会



放課後見守り活動

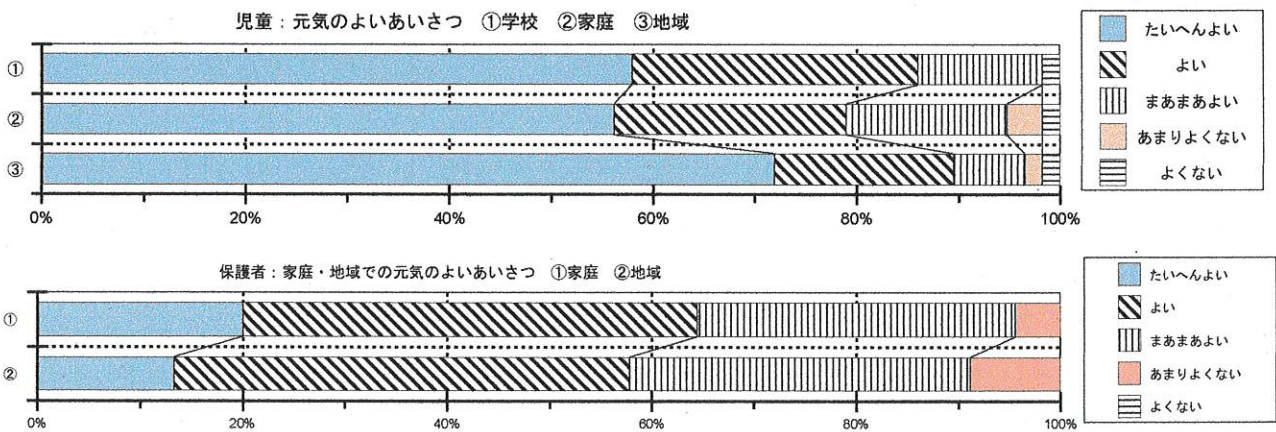
# 項目別評価

## I 社会性の育成

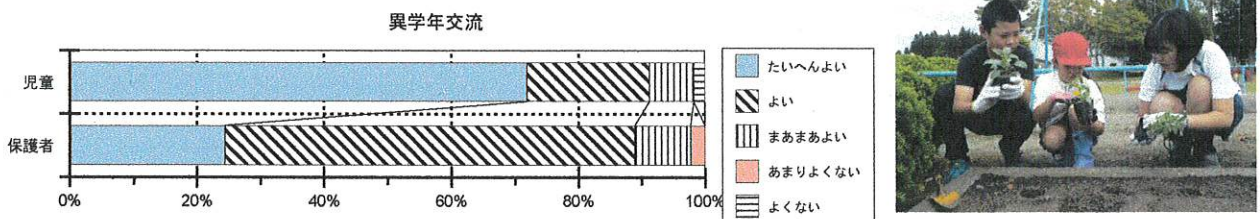
児童の状況		自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で協力し合い、充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	良好	良好	元気に挨拶できている児童が多い。校内での挨拶がよいので、地域での挨拶ももっとよくなると思われる。地域の知っている人には積極的に挨拶ができるよう、指導を行ってほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】計画委員会による毎朝の挨拶散歩、ハローウィーク等の活動の継続により、「あいさつがしっかりできている」と感じている児童が増えている。ハローウィークの期間の挨拶を普段も継続していくところに課題がある。現在、不登校傾向の児童がいる。保護者との連携と共に、全職員で情報を共有し見守っている。			
	【年度→次年度】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣 (主体的実践力)	①元気なあいさつの励行	・ハローウィーク、あいさつ散歩	3	
	②はじめある生活の習慣化	・「にしたてルール」の徹底		
2 集団生活・集団行動 (社会性)	③異学年交流の充実	・登校班、委員会、クラブ、縦割り班活動	4	
	④学級活動の充実	・係・当番活動、班での取組と振り返り		
3 組織的な生徒指導 (道徳性)	⑤共通理解に基づいた生徒指導	・情報交換、子どもを語る会	4	
	⑥いじめ・不登校の防止と早期対応	・いじめ調査後の教育相談 ・さわやか委員会による初期対応		

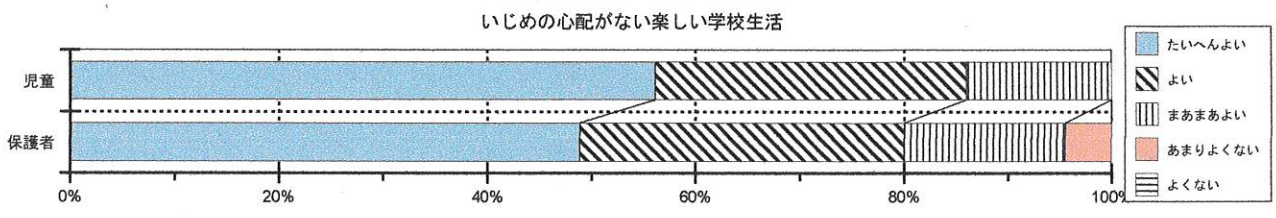
### 【1に関するデータ】 教員評価3.2



### 【2に関するデータ】 教員評価3.8



### 【3に関するデータ】 教員評価3.8

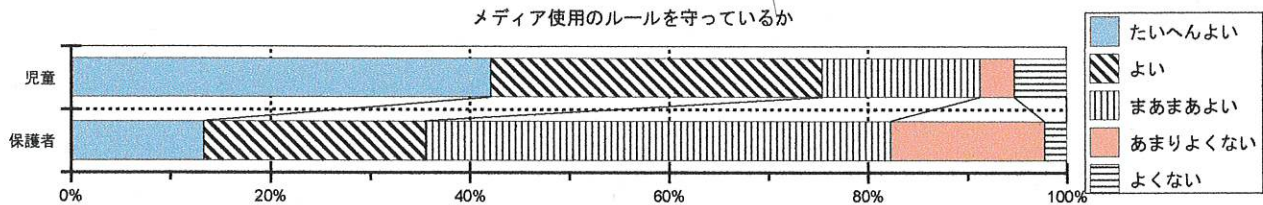


## II 健康と体力

児童の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
食や運動を通して健康や体力に関心をもち、望ましい態度や生活習慣を身に付けようとしている。	前期	良好	良好
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】メディアコントロール週間の結果に個人差があるものの、実施期間だけでなく、毎日自分から意識していけるように、継続して掲示物等で呼びかけていく。比内給食センターの高橋栄養教諭による全校児童へのミニ食育指導や学年ごとの食育授業が計画的に進められている。今後も栄養教諭と連携を取りながら、食育を進めていきたい。		
	【年度→次年度】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 保健・食育指導の状況 (健康)	⑦健康な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアコントロール週間(年3回)</li> <li>保健だよりの発行</li> <li>栄養教諭と連携した食育の推進</li> </ul>	4	
	⑧食育の推進			
5 体力づくり (主体的実践力)	⑨体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力パワーアップ</li> <li>マラソンタイム・マラソン記録会</li> </ul>	4	

### 【4に関するデータ】 教員評価3. 8



- 〈健康な生活習慣の確立〉
- ☆比内地区一斉メディアコントロール週間の実施(6月実施)
  - ☆メディアリデュースカップの実施
  - ☆大館市小中一斉メディアコントロール習慣の実施
  - ☆歯科衛生士による歯磨き指導
- 〈食育の推進〉
- ☆栄養教諭による各学年年1回の食育授業(全学年実施予定)

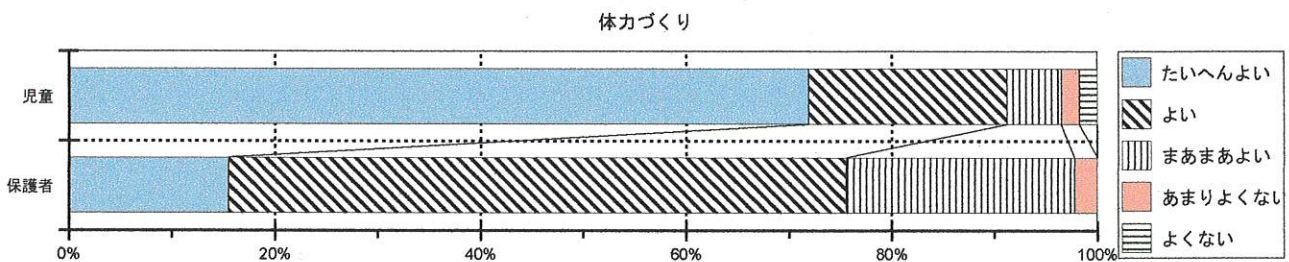


2年生 食育の授業



健康委員会による呼びかけ

### 【5に関するデータ】 教員評価3. 7



新体力テストの結果 (県平均を100としたときの指数)

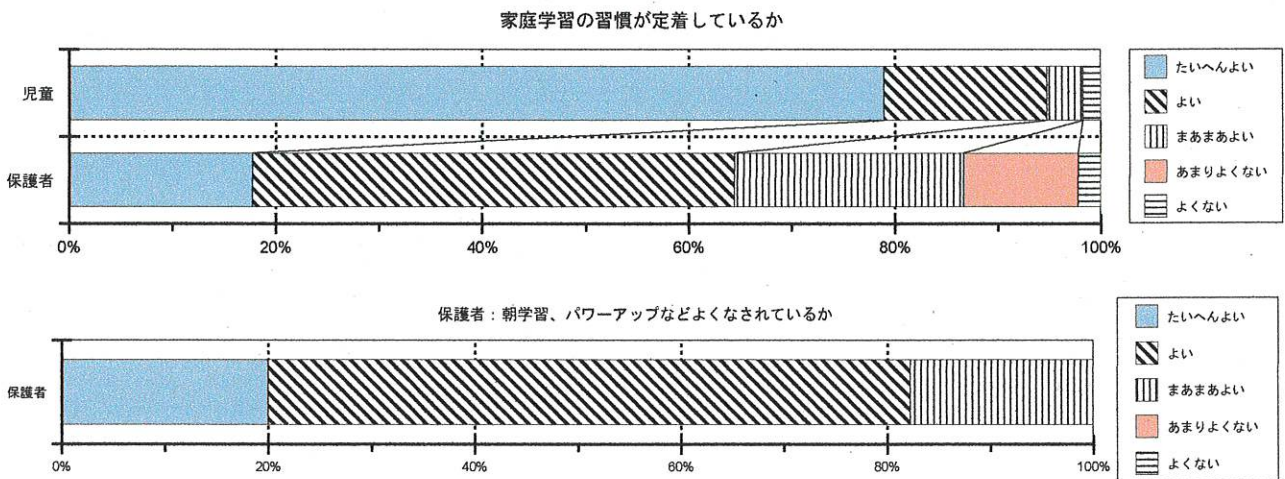
	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6	現中1
体力得点 男	107.2	124.3	94.3	99.0	100.4	98.1
体力得点 女	119.3	113.6	106.7	94.5	98.8	106.1

### Ⅲ 基礎学力

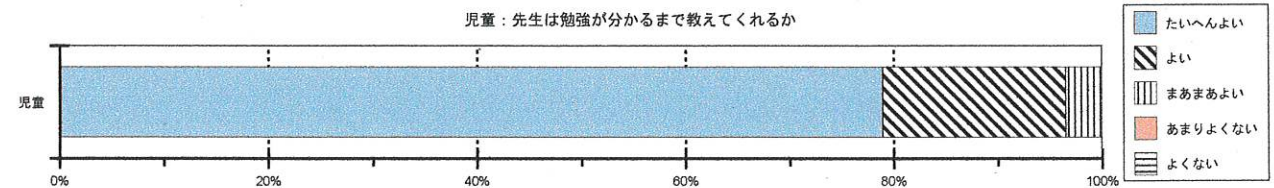
児童の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
意欲的に授業に臨み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	教室の環境、一人一人に目を向け共感的な言葉を使っている授業が進められている。家庭学習の習慣に関する児童と保護者の差については、保護者が何をどこまで求めているのかを、子どもに伝えてもよいのではないかと。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	<b>【前期→年度】</b> 今年度から読む力の向上のため、新聞タイムの取組を始めた。基礎学力の定着の取組として朝学習のタブレット使用、単元テスト、個人の能力に配慮した一人勉強を2学期も継続する。また、話し方聞き方週間を実施した。効果的な取組ではあったが、より項目ごとに意識させるために2学期は、1週目を話し方、2週目を聞き方に特化した取り組み方にして実施する。2学期は、児童同士の授業を見合う会の実施を予定している。 <b>【年度→次年度】</b>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 学習への取組 (基本的な生活習慣) (主体的実践力)	⑩基本的学習習慣の確立	・学習の約束の継続指導 ・ビックボイスウィークの実施	3	
	⑪基礎学力の定着	・タブレットを活用した朝学習、一人勉強の充実、県配信問題の実施		
	⑫生き生きと表現する力の育成	・心をつなぐあったか言葉・行動 ・「かがやきタイム」の充実		
7 諸学力調査の状況 (課題解決力)	⑬諸検査の結果分析と共通理解	・問題と質問紙票の分析、及び共通理解のための分析、会議の設定、実施	3	
	⑭学力向上対策と授業改善に向けた取組	・回復指導の時間やパワーアップ学習の設定、実施 ・授業改善につながる情報提供		

#### 【6に関するデータ】 教員評価 3. 3



#### 【7に関するデータ】 教員評価 3. 7



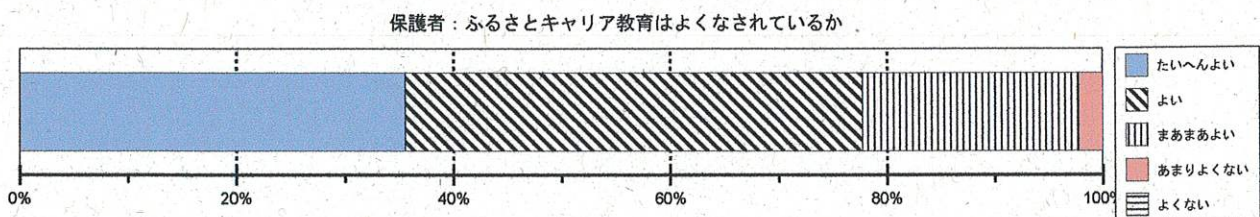
県学力状況調査		実施年	国語	社会	算数	理科	合計
現中1	R5-小6	R5実施	97.2	94.3	93.7	106.7	98.0
	R4-小5	R4実施	102.4	104.4	95.6	105.1	102.1
	R3-小4	R3実施	94.8		100.0	109.6	101.8
現小6	R5-小5	R5実施	96.7	99.2	97.5	121.1	103.6
	R4-小4	R4実施	91.5		103.9	113.5	102.8
現小5	R5-小4	R5実施	81.3		58.7	115.4	88.5

#### IV ふるさとキャリア教育

児童の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
ふるさとへの愛着心もち、ふるさとに生きようとする気概を育てる。	前期	良好	地域と関わっての活動がよくなされている。夢を育む教室では、西館小学校への愛着が感じられた。比内支援学校、西館保育園との交流も自然な形で行われている。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】今年度も5年生の比内支援学校の高学部との枝豆の交流、6年生の株式会社経営の学習を行っている。「KGP：小新田グレーププロジェクト」クラブの取組も応援シールを貼る活動を継続している。今年度は150周年を意識し、各行事で地域の方に感謝を伝えられるよう、子どもの実行委員会を立ち上げ、子どもたちが主体となって事業を企画運営している。思い出に残るとともに、地域に誇りをもつことができる1年となるようにしていきたい。		
	【年度→次年度】		

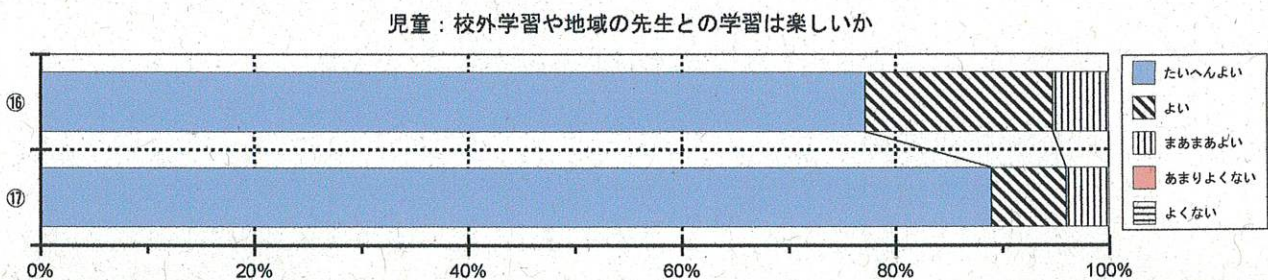
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 ふるさとに対する愛着心と誇りの醸成 (課題解決力) (発信力)	⑮たくましく豊かな心を育てる体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、特活、総合的な学習の時間における体験活動の推進</li> <li>外部機関との連携</li> <li>地域の人材の職業観に触れる学習活動の推進</li> </ul>	4	
	⑯夢を育む活動の推進			

【8に関するデータ】 教員評価3.8



(児童アンケート)

- ⑯ 運動会や集会活動、農園作りや生活科・総合の学習は楽しいですか。
- ⑰ 校外学習や地域の先生たちとの勉強は楽しいですか。



5年生 支援学校との枝豆交流



4年生 手話学習



1年生 チューリッププレゼント



KGP 農園作業

#### 1学期実施のふるさとキャリア教育・夢を育む活動



V 組織・運営

学校の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
特色ある開かれた学校づくりを計画的・組織的にしている。	前期	良好	今年度の様々な行事が子どもが主体で行われており、子どもを育てる取組になっている。テーマパークについては、実際に何をやっているのか、たくさん発信し丁寧に伝えていくとよい。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期→年度】言葉によるコミュニケーション力の向上を目指す手立ての一つとして始めた西館ミーティングは三年目を迎えた。昨年よりも内容の自由度が増し取り組みやすくなった。感想発表については、高学年3文、中学年2文になるように学年ごとに型を示している。高学年がよい見本となることで全体の態度面の成長につながる。事後の振り返りと周りからの称賛の場を設けることで高学年の意識が高まっている。</p> <p>【年度→次年度】</p>		

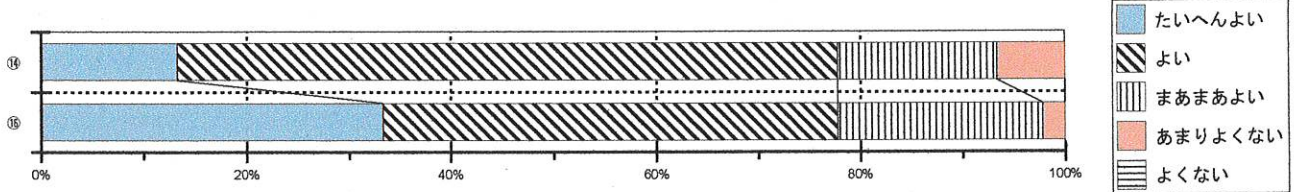
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 学校の明確な運営及び責任体制 (主体的実践力) (発信力)	⑰コミュニティ・スクールの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会による学校経営方針の承認</li> <li>学校評価等による経営改善</li> </ul>	4	
10 教育課程の編成と実施 (おおだて型学力)	⑱学校教育目標を実現するための特色ある教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>時数の確保と時間割の工夫</li> <li>児童の手による全校活動や縦割り活動の場の設定</li> <li>PDCAに基づく行事の推進</li> </ul>	4	
	⑲重点施策の具現に向けた教育課程の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション能力を意識した教育活動の展開</li> <li>児童の実態を深く掘り下げるワークショップの実施(2月)</li> </ul>		

【9に関するデータ】 教員評価 3.9

保護者アンケートから

⑭ 学校は、教育目標や経営方針などを分かりやすく伝えていきますか。

⑯ 各行事(入学式・運動会等の校内行事や体験活動)は効果的に実施されていると思いますか。



【10に関するデータ】 教員評価 3.9



6年生主催の全校活動



児童朝会(委員会紹介)

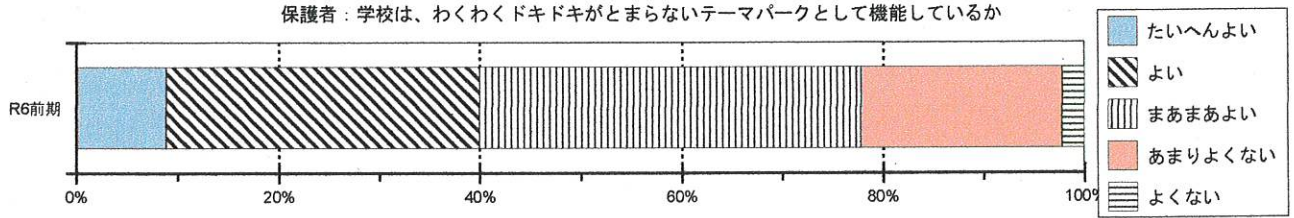


西館ミーティング

- 150周年実行委員会
- 1・2年生 缶バッチプロジェクト
  - 3・4年生 スカイランタンプロジェクト
  - 5・6年 お祝いする会プロジェクト

学校が、わくわくドキドキがとまらないテーマパークになるように意識していますか。 職員評価 4.0

保護者：学校は、わくわくドキドキがとまらないテーマパークとして機能しているか



## VI 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
学校の取組を保護者、地域に分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に生かしている。	前期	良好	PTAとの連携は一部に留まっていないか。どんな連携を行っているか、学校が発信を頑張ると共に、受け取り側の保護者の努力も必要ではないか。地域との連携では、小新田のぶどう応援シール活動のようなお互いに満足できる活動を意識して行ってほしい。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	<b>【前期→年度】</b> 今年度も地域コーディネーターに連絡を取っていただき、学校農園の畝立て、夢を育む教室、読み聞かせ、書写指導など、地域の人材を活用した活動ができている。読み聞かせ会を毎月1回実施できていることは子どもたちにとってとても貴重な時間であり、読書意欲の向上につながっている。 <b>【年度→次年度】</b>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 地域の教育力の活用 (組織力)	⑳地域・異校種との双方向の連携・協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援活動事業の推進</li> <li>学校後援会との連携</li> <li>保、小中、支援学校との連携</li> </ul>	4	
12 情報の受発信 (情報把握力・発信力)	㉑広報活動の充実と学校開放の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校報・ホームページ等による情報の受発信</li> </ul>	4	

【11に関するデータ】 教員評価 4.1

【12に関するデータ】 教員評価 3.8

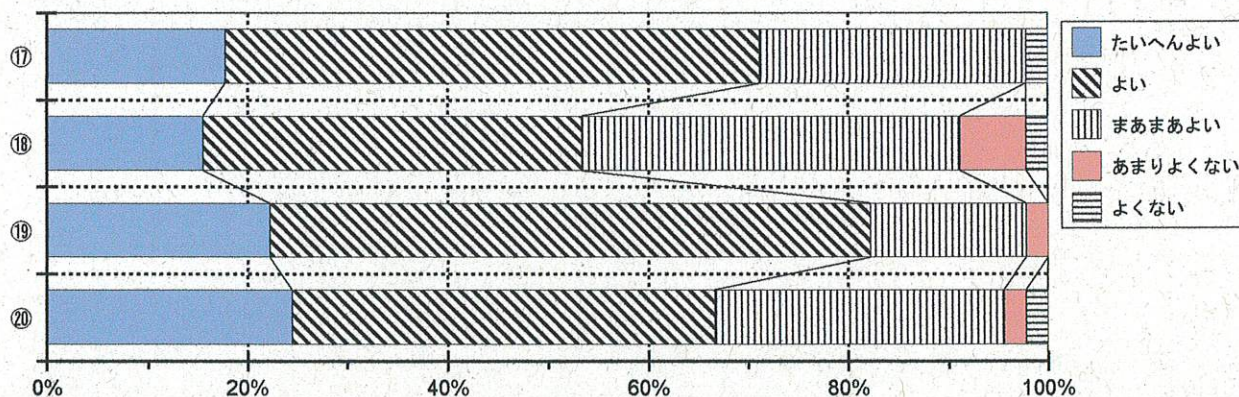
保護者アンケートから

⑰学校と保護者との連携は、うまくなされていると思いますか。

⑱学校と後援会、地域との連携は、うまくなされていると思いますか。

⑲学校は、学校の取組や子どもたちの様子などを、学校報、学年だより、ブログ等で分かりやすく伝えていていると思いますか。

⑳学校は、保護者からの相談や要望などについて適切に対応していると思いますか。



高橋富美子さんの書写指導



学校農園の畝立て、マルチシート張り



おもちゃ組 読み聞かせ会

学校報「にしたて」は全戸配布を続けている。ブログのQRコードを学校報に載せた。10月号にも掲載予定。「カラー写真でタイムリーに活動の様子が分かるのでうれしい。」という声が届いている。



Ⅶ 教師の研修

学校の状況	自己評価A	運営協議会評価	運営協議会コメント
学校教育のレベルアップのために教職員が目標をもって意欲的に研修を行っている。	前期	良好	良好
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】 1学期に全国学力学習状況調査に向けたパワーアップを行った。2学期は、県の学習状況調査について全員で共通理解・共通実践できるよう、パワーアップと分析会議を行う。 メンターチームによる授業研究会が計画的に実施できた。2学期は、市教研社会科と指定訪問の機会に指導案検討会や協議を通して研究を進めていきたい。ICT活用指導力についての研修を計画したい。		
	【年度→次年度】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 研修の実施 (組織力)	②計画的、組織的な研修の推進	・年間研修計画の立案と校内外の研修 ・情報の共有化	4	
14 授業力の向上 (主体的実践力)	③計画的な研究授業の実施と成果・課題の把握と改善	・事前研、事後研の計画的な運営 ・授業改善に向けた施策 (共感的な話し方・聞き方の指導、かがやきタイム、振り返りの視点等)	4	

【13に関するデータ】 教員評価 4. 1

・年間の研修の計画を基に、授業研究を全員で行い、授業改善に生かしている。



学びのオリエンテーション



2年 漢字の学習



年長児授業体験(夏休み)



所長長訪問授業参観



学団合同道徳

視察、授業参観も研修の機会と捉え授業改善につなげている。

7月9日 宮城県気仙沼市教育委員会視察

【14に関するデータ】 教員評価 3. 6

・研究教科「国語科」 2年目

研究テーマ

「自分の考えをもち、自分の言葉で表現し、学びを深める子どもの育成」  
～国語科「読むこと」を中心として～

研究の重点

重点1 主体的な学びを引き出す手立ての工夫

施策 (1) 身に付けたい力を明確にした単元構成

(2) 言葉の力を付けさせるための手立ての工夫

重点2 学びを深める手立ての工夫

施策 (1) 深い学びを引き出すための手立て

(2) 学び合い、つなげるための言葉



校内研究会 1年国語